

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの累積感染者数は 1 月下旬までに約 9800 万人、死亡者数は約 210 万人にのぼっています(米国ジョンホプキンス大学 2021-1-24)。1 か月前に比べて感染者は約 2000 万人、死亡者は 40 万人増えました。WHO の報告では、感染者数は米州とヨーロッパが全体の 80%以上を占めていますが、ここ 1 か月は西太平洋(日本、マレーシアなど)とアフリカ(南アフリカ、ナイジェリアなど)での増加がみられています(WHO Corona virus disease 2021-1-19)。

世界的に複数の変異ウイルスの流行がみられており、英国で発生した変異型(B1-1.7)は世界 60 か国に、南アフリカで発生した変異型(B1-351)は世界 23 か国に拡大しています((WHO Corona virus disease 2021-1-19)。いずれの変異ウイルスも感染力の強いことが明らかになっていますが、病原性については調査中です。ワクチンに関しては、英国型には効果があるとされています。日本でも 1 月に英国型の国内感染者が 5 名確認されました(2020 年 1 月 24 日現在)。こうした変異ウイルスの流行にともない、日本政府は水際対策を強化しており、外国人の入国が原則的にできなくなりました。また、日本国籍者が入国する際は、入国時にコロナ検査の陰性証明書の提出を求められます。詳細は下記の厚労省ホームページなどをご参照ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00209.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)

・北半球:インフルエンザの流行

北米、ヨーロッパ、東アジアでは、1 月もインフルエンザの流行が報告されていません(WHO Influenza 2021-1-18)。一方、インド、ネパールでは A(H3N2)型、イランでは B 型の患者が散発しています。なお、国立感染症研究所の報告では、日本でもインフルエンザの流行は発生していません(国立感染症研究所 2021-1-8)。

・アジア:中国でトリインフルエンザの患者発生

中国・重慶で 12 月中旬に 51 歳男性がトリインフルエンザ H5N6 型を発病し、重症になっています。中

国では今までに H5N6 型の患者が 27 人確認されています (Outbreak News Today 2021-1-16)。広東省でも 1 歳男児がトリインフルエンザ H9N2 型を発病しており、この型の患者数は 42 人になりました。いずれも家禽に接触して感染したものとみられています。

**・アフリカ: 西アフリカでコレラが流行**

西アフリカ各地でコレラが流行しており、2020 年は 2 万人が発病し、400 人以上が死亡しました (Outbreak News Today 2020-12-31)。トーゴでは 11 月中旬から年末までに 67 人の患者が確認され (WHO outbreak news 2021-1-4)、ナイジェリアでは Benue 州や Delta 州で 30 人以上が死亡した模様です (Outbreak News Today 2021-1-17,21)

**・南米: ペルーでデング熱患者が増加**

ペルーでは 2020 年にデング熱患者が南東部を中心に 5 万 6000 人発生しました (Outbreak News Today 2021-1-15)。これは 2017 年以来となる多い患者数です。南米各国では新型コロナ対応に追われているため、デング熱の患者数が増加傾向にあります。